

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年7月14日
【四半期会計期間】	第51期第1四半期（自平成26年3月1日至平成26年5月31日）
【会社名】	株式会社リンガーハット
【英訳名】	RINGER HUT CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 秋本 英樹
【本店の所在の場所】	長崎県長崎市鍛冶屋町6番50号 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。） 東京都品川区大崎一丁目6番1号TOC大崎ビル14階
【電話番号】	（03）5745-8611
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部兼品質保証チーム担当 小田 昌広
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大崎一丁目6番1号TOC大崎ビル14階
【電話番号】	（03）5745-8611
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部兼品質保証チーム担当 小田 昌広
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第1四半期連結 累計期間	第51期 第1四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自平成25年3月1日 至平成25年5月31日	自平成26年3月1日 至平成26年5月31日	自平成25年3月1日 至平成26年2月28日
売上高 (千円)	9,158,969	9,094,772	36,726,698
経常利益 (千円)	390,941	312,728	1,671,484
四半期(当期)純利益 (千円)	205,437	35,011	707,657
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	238,066	37,302	697,032
純資産額 (千円)	10,438,196	10,798,324	10,871,717
総資産額 (千円)	24,671,393	24,934,471	24,410,113
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	9.31	1.58	32.35
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	42.3	43.3	44.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済環境は、政府による経済・金融政策推進を背景に、企業収益や個人消費に改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調にあります。その一方で、消費税の増税、節約志向による消費低迷の懸念など、先行きは依然として不透明な情勢が続いております。

外食産業におきましては、個人消費に回復の兆しはみられるものの、原材料価格の高騰や業種・業態を超えた厳しい競争状態が依然として続いております。

このような状況の中、当社グループは『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに、強固な企業体質づくりに取り組んでまいりました。

国内の店舗の出店及び退店につきましては、当第1四半期連結累計期間中に「長崎ちゃんぼんリンガーハット」を16店舗出店し5店舗退店いたしました。「とんかつ浜勝」は1店舗出店し1店舗退店いたしました。また、海外ではタイ国3店舗の内2店舗を退店いたしました。その結果、当社グループ合計で平成26年5月末の店舗数は前期末より9店舗増加し、国内652店舗、海外7店舗の計659店舗となりました。(内直営464店舗、FC195店舗)

店舗売上高につきましては、特にリンガーハットにおいて前年のTV放映と消費税増税後の反動の影響が大きく、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は97.9%となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は90億94百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益は3億38百万円(同19.7%減)、経常利益は3億12百万円(同20.0%減)、四半期純利益は35百万円(同82.9%減)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### (長崎ちゃんぼん事業)

リンガーハットでは、国産野菜・国産小麦粉100%使用を前面に打ち出した「野菜たっぷりシリーズ」の販売促進や夏向けメニューの「冷やしちゃんぼん」「野菜つけめん」「黒酢冷麺」を新発売し売上増加を図りました。

しかしながら、前年度のTV放映の反動や消費税増税後の客数減少を挽回しきれず当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は95.4%となりました。

以上の結果、売上高は67億41百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益は1億72百万円(同33.2%減)となりました。

#### (とんかつ事業)

浜勝では、お客さまに喜ばれる調理・サービスを実践するために、調理・サービスのトレーニングを徹底して取り組んでまいりました。また、健康志向ニーズに対応した食材や女性のお客さまをターゲットに手作りの「デザートビュッフェ」を導入する等の販売施策を図っており、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は106.2%と順調に推移しております。

以上の結果、売上高は22億98百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益は1億25百万円(同0.8%増)となりました。

#### (設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業の「リンガーハット開発株式会社」につきましては、当社グループ内直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全等が主な事業であり、当第1四半期連結累計期間の売上高は4億円(前年同期比1.8%減)、営業利益39百万円(同4.0%増)となりました。

なお、前連結会計年度まで区分掲記しておりました「和食事業」につきましては、会社組織の変更に伴い、当第1四半期連結累計期間より「とんかつ事業」に含めて表示しております。

( 2 ) 財政状態

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億24百万円増加し249億34百万円となりました。これは主に、ショッピングセンター店舗の売上金の増加に伴う未収入金の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ5億97百万円増加し141億36百万円となりました。これは主に未払費用の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ73百万円減少し107億98百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

( 4 ) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、37百万円であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	46,000,000
計	46,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年5月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年7月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,067,972	22,067,972	東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	22,067,972	22,067,972		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成26年3月1日～ 平成26年5月31日	-	22,067,972	-	5,066,122	-	2,079,391

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,019,800	220,198	-
単元未満株式	普通株式 48,072	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	22,067,972	-	-
総株主の議決権	-	220,198	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式99株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社リンガーハット	長崎県長崎市鍛冶 屋町6番50号	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

(注)当第1四半期会計期間末時点での自己株式数は449株、発行済株式総数に対する所有株式数の割合は0.00%であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,474,540	1,420,051
売掛金	490,531	577,833
未収入金	419,594	765,887
商品及び製品	46,270	63,631
仕掛品	11,466	12,720
原材料及び貯蔵品	268,892	277,943
前払費用	292,510	339,568
繰延税金資産	52,181	52,064
その他	146,729	200,447
流動資産合計	3,202,717	3,710,148
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	7,596,041	7,699,955
機械装置及び運搬具(純額)	771,396	749,239
土地	5,743,090	5,594,070
リース資産(純額)	242,323	234,331
建設仮勘定	22,932	39,533
その他(純額)	454,858	464,431
有形固定資産合計	14,830,644	14,781,562
無形固定資産	207,451	315,079
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,435,342	1,431,327
差入保証金	997,025	978,906
建設協力金	219,730	200,248
敷金	2,492,567	2,509,988
繰延税金資産	704,913	709,633
その他	342,325	320,184
貸倒引当金	22,605	22,605
投資その他の資産合計	6,169,299	6,127,681
固定資産合計	21,207,396	21,224,323
資産合計	24,410,113	24,934,471



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	747,783	853,913
短期借入金	2,180,000	2,764,000
1年内返済予定の長期借入金	1,920,076	1,862,376
1年内償還予定の社債	220,000	220,000
未払金	489,114	545,026
未払費用	903,216	1,235,191
リース債務	80,434	86,346
未払法人税等	311,986	93,416
未払消費税等	204,729	245,360
株主優待引当金	60,640	48,273
店舗閉鎖損失引当金	12,107	16,253
販売促進引当金	7,710	3,397
資産除去債務	12,258	12,258
その他	230,831	346,786
<b>流動負債合計</b>	<b>7,380,890</b>	<b>8,332,600</b>
<b>固定負債</b>		
社債	260,000	220,000
長期借入金	2,840,042	2,501,798
長期末払金	419,063	420,895
リース債務	231,066	254,547
繰延税金負債	11,186	11,186
退職給付引当金	940,766	912,897
長期預り保証金	421,945	427,803
資産除去債務	1,007,551	1,031,068
その他	25,882	23,348
<b>固定負債合計</b>	<b>6,157,505</b>	<b>5,803,546</b>
<b>負債合計</b>	<b>13,538,396</b>	<b>14,136,147</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	5,066,122	5,066,122
資本剰余金	4,486,935	4,486,935
利益剰余金	1,182,038	1,106,710
自己株式	278	634
<b>株主資本合計</b>	<b>10,734,817</b>	<b>10,659,134</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	115,997	122,811
為替換算調整勘定	20,901	16,379
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>136,899</b>	<b>139,190</b>
<b>純資産合計</b>	<b>10,871,717</b>	<b>10,798,324</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>24,410,113</b>	<b>24,934,471</b>

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	8,814,952	8,722,675
売上原価	2,880,493	2,959,126
売上総利益	5,934,459	5,763,549
その他の営業収入	344,016	372,096
営業総利益	6,278,475	6,135,646
販売費及び一般管理費	5,856,521	5,796,954
営業利益	421,954	338,691
営業外収益		
受取利息	1,882	1,340
受取配当金	38	56
保険解約返戻金	4,663	-
店舗閉鎖損失引当金戻入額	4,000	-
その他	2,174	3,556
営業外収益合計	12,758	4,952
営業外費用		
支払利息	28,128	21,567
持分法による投資損失	8,615	4,133
その他	7,026	5,215
営業外費用合計	43,770	30,916
経常利益	390,941	312,728
特別利益		
収用補償金	-	395
特別利益合計	-	395
特別損失		
固定資産売却損	-	108,569
固定資産除却損	5,705	6,764
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	4,260
減損損失	-	9,854
貸倒引当金繰入額	8,991	-
特別損失合計	14,696	129,448
税金等調整前四半期純利益	376,245	183,674
法人税等	170,807	149,138
少数株主損益調整前四半期純利益	205,437	34,535
少数株主損失( )	-	476
四半期純利益	205,437	35,011

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	205,437	34,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,927	6,813
為替換算調整勘定	4,021	1,889
持分法適用会社に対する持分相当額	2,680	2,157
その他の包括利益合計	32,628	2,766
四半期包括利益	238,066	37,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,066	37,302
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
減価償却費	302,306千円	292,747千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月24日 定時株主総会	普通株式	110,289	5	平成25年2月28日	平成25年5月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月27日 定時株主総会	普通株式	110,338	5	平成26年2月28日	平成26年5月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注)3						
外部顧客への売上高	6,927,667	2,162,772	68,529	9,158,969	-	9,158,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	338,965	338,965	338,965	-
計	6,927,667	2,162,772	407,494	9,497,934	338,965	9,158,969
セグメント利益	257,756	124,695	37,850	420,302	1,651	421,954

(注)1. セグメント利益の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注)3						
外部顧客への売上高	6,741,124	2,298,895	54,752	9,094,772	-	9,094,772
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	345,580	345,580	345,580	-
計	6,741,124	2,298,895	400,333	9,440,353	345,580	9,094,772
セグメント利益	172,104	125,675	39,352	337,132	1,559	338,691

(注)1. セグメント利益の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの変更等に関する情報

当第1四半期連結累計期間より、会社組織の変更に伴い報告セグメントとして記載する事業セグメント「和食」を「とんかつ」に含めて表示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中に退店が決定した店舗等に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は9,854千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	9円31銭	1円58銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	205,437	35,011
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	205,437	35,011
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,057	22,067

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成 26 年 7 月 11 日

株式会社 リンガーハット

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森 行一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 矢野 真紀 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社リンガーハットの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社リンガーハット及び連結子会社の平成26年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。